



準優勝 ふる里学舎のメンバー

25日の3日間、成田市にあるナスパスタジアムをメインとした4球場にて全国各地を勝ち抜いた16チーム（北海道ブロック1、東北ブロック2、関東ブロック4、北陸ブロック1、中部東海ブロック1、近畿ブロック3、中国



ふる里学舎 岩淵選手

23日は成田ビューホテルにて開会式と組み合わせ抽選会が行われ、抽選により予選の組み合わせが決まった後、各チームの代表者によるチーム紹介が行われました。関東ブロック予選を勝ち抜き、代表として当協会の加盟事業所である、ふる里学舎、大久保学園、心聖会が出場し、24日には4球場にて1・2回戦が行われ、25日にはナスパスタジアムにて準決勝、決勝戦が行われました。初出場の心聖会は1回戦、接戦でしたが惜しくも初戦突破ならず、4回目の出場となる大久保学園は1回戦を勝利しましたが、2回戦で、ふる里学舎との千葉県対決で2回戦突破とはなりません。ふる里学舎は1・2回戦を勝ち進み、準決勝では、神戸エンジェルズ（兵庫県）と対戦して11対0で勝利し決勝へ、決勝戦では準決勝で前年度優勝チ

全国社会福祉軟式野球大会 千葉大会

ふる里学舎「準優勝」

全国社会福祉軟式野球連盟主催の第36回全国社会福祉軟式野球大会 千葉大会が平成30年10月23・24・25日の3日間、成田市にあるナスパスタジアムをメインとした4球場にて全国各地を勝ち抜いた16チーム（北海道ブロック1、東北ブロック2、関東ブロック4、北陸ブロック1、中部東海ブロック1、近畿ブロック3、中国

ブルック1、四国ブルック1、九州ブルック1、前年度優勝チーム）によるトーナメント戦が開催されました。23日は成田ビューホテルにて開会式と組み合わせ抽選会が行われ、抽選により予選の組み合わせが決まった後、各チームの代表者によるチーム紹介が行われました。関東ブルック予選を勝ち抜き、代表として当協会の加盟事業所である、ふる里学舎、大久保学園、心聖会が出場し、24日には4球場にて1・2回戦が行われ、25日にはナスパスタジアムにて準決勝、決勝戦が行われました。初出場の心聖会は1回戦、接戦でしたが惜しくも初戦突破ならず、4回目の出場となる大久保学園は1回戦を勝利しましたが、2回戦で、ふる里学舎との千葉県対決で2回戦突破とはなりません。ふる里学舎は1・2回戦を勝ち進み、準決勝では、神戸エンジェルズ（兵庫県）と対戦して11対0で勝利し決勝へ、決勝戦では準決勝で前年度優勝チ



第70号 (二〇一八年十二月号)
発行日 平成三十(二〇一八)年十二月二十日
発行者 里見吉英
編集者 島山正昭・菅谷大輔・秋山直樹
発行所 千葉県知的障害者福祉協会
(本部) 千葉市中央区中央四一三一五 カンガルービル4F B
(事務局) 船橋市金堀町四九九一 大久保学園内
TEL 0476(457)2481
HP http://www.chibachiteki.com/

目次
● 全国社会福祉軟式野球大会 千葉大会 1
● 生活サポート千葉 2
● 平成30年度福利厚生委員会 3
● 第15回自立支援セミナー2019 4
● 給食研修会報告 4
● 新事業所紹介 5
● わが施設の自慢・アピールポイント 7
● 千葉知協トピックス 7
● 事務局便り・編集後記 8

ームを破った優勝経験のある強豪の清水旭山学園（北海道）と対戦、両チームのエースの好投で緊迫した試合となり、何度か得点のチャンスもありましたが決定打が出ず、0対2で惜しくも優勝まであと一歩という結果となりました。しかし全国大会3回目の出場で準優勝というのは見事な成績であります。また、この大会で予選1回戦と準決勝、決勝を完投し、活躍されたエースの岩淵選手は、個人賞の敢闘賞を受賞しました。ふる里学舎には、次回の大会にも出場して是非、優勝を目指して頑張ってくださいと思います。
今回、千葉大会ということで千葉県知的障害者福祉協会も福利厚生委員会中村委員長を中心とした運営委員会を立ち上げ、関東地区事務局である群馬県高崎市の社会福祉法人新生会と連携し、大会出場チームに気持ちよくプレーして頂ければと準備を進めてまいりました。天候も心配されましたが、24日、25日ともに晴天に恵まれて予定どおりに大会を進めることができました。
最後に運営委員をはじめ、大会当日のスタッフを派遣してくださった事業所の皆様のご協力により無事に大会を開催できたことを御礼いたしまして、ご報告とさせていただきます。
大会運営委員・広報委員会
中里の家 施設長 島山 正昭

生活サポート千葉 表彰と現在の活動状況

千葉刑務所からの感謝状



表彰（千葉刑務所にて）

千葉刑務所
所長より生活
サポート千葉
に感謝状をい
ただきました。
「刑務所被収
容者の円滑な
社会復帰に貢
献した」とい
うお言葉をい
ただきました。
当たり前の業
務として行っ
て来たことで
あり驚きなが
らたいへん有
り難くいただ
きました。当法人は知的障害者福祉協会加盟施
設の皆さんに会員となっていたいただき、活動を支
えていただけてきました。定着支援センターの
運営では今年度の9月末で丸8年を迎えました。
全国を見渡すと、地域生活定着支援センターの
受託法人の形態は様々ですが、日本一元気で勢
いがあるセンターとして活動ができているのは
皆様方からの物心両面による大きなバックアッ
プがあればこそです。

千葉県に帰って来る根拠がある人たちが、遠
く北海道や九州、全国各地の刑務所に服役して
います。定着支援センターが千葉県内に受け入
れ先を見つけると『保護上移送』によって遠方
の刑務所から千葉刑務所へと送り届けてもら

事が可能になります。そうでなければ8時半の
出所に合わせて他県の刑務所まで迎えに行かな
ければなりませんので、この仕組みは大変あり
がたいものです。そうなるはずと千葉刑務所
を経由して出所する人が多くなり、私たちが千
葉刑務所に面接に行く回数が多くなったことで
感謝状をいただくことになりました。

感謝状と時を同じくして、千葉刑務所から被
収容者に対する福祉講話の依頼がありました。
その日は特に暑い日で、冷房がない体育館はサ
ウナ状態でした。でも目の前に座っている高齢
の人たちは特に暑い様子も見せずに背筋を伸ば
して真剣な表情で話に耳を傾けていました。千
葉刑務所では6割の受刑者が無期懲役だそうで
すが、福祉の支援が必要な約180名が受講者
でした。車椅子の人も、杖を使っている人も、
支えが必要な人の姿もありました。もちろん、
高齢者であってもその中には知的障害や精神障
害の人もいます。私の目の前に置かれた冷たい
ペットボトルからは水滴がこぼれていました。
みんなが我慢しているその前で、しかも高い所
から、その美味しそうな水をいただくことなど
できませんでした。

その場で、福祉の細かな説明をしても意味が
ないと思い、千葉県地域生活定着支援センタ
ーが調査チームリーダーとして全国1000人の出
所者からの「聞き取り&アンケート調査」（1
00%回収）を行った際の資料を使って「福祉
の支援を受けてどう感じたか」をもとに話しま
した。いま、各刑務所内では受刑者が福祉の支
援を敬遠する向きもあるようです。「福祉の支
援こそ終わりがなく、監視され、自由がなく、
無期懲役と同じようだ。」ということが受刑者
の間で噂されているようです。そのようなこと
もある意味、完全に否定はできませんので、私
たちは常にそうならないように注意して、そう
思われていることも心に留めておく必要があります。

ます。

そんな誤解を解きながら、一人ひとりの心に
届くようにと話しました。「福祉なんか要らな
いよ、一人でできるから。」と思っても、困っ
たことがあったらうちのセンターを思い出して
ほしいと伝えました。その後、受講した皆さん
から感想文をいただきました。講話には60歳以
上の171人が参加し、文字を書くことが出来
ない一人を除いた170人から感想をいただき
ました。

「高齢による仕事や住居について、今回の講
話を聞き、手助けしてくれるところがあること
を知り、感謝の気持ちを覚えました。」「これか
ら先のことを考えるだけで不安を覚えていまし
たが、自分がしっかりとした目標と希望を持つ
て努力している限り、必ず報われる時が来ると
知ったような気がしました。」「今まで福祉のお
世話になるなど拒絶する気持ちを持っていまし
たが、真心のこもったお話を聞き、不安だらけ
だった心が力強さに変まりました。」「許しがた
い罪を犯した者にまで温かい支援の手を差し伸
べていただけることに感謝の気持ちしかありま
せん。」「あなたは決して独りではない。がんば
って生きていきましよう」という言葉に心を打た
れました。」「一言も漏らさずに耳を傾けまし
た。私は母が90代と存命で意識もすっかりして
いるため帰住できません。当面は福祉支援を必要
としない身ですが、どんな窮状に陥っても相談
できることに安心しました。こうした事業のた
めに寄付をしたい。」等々。

なかには「良い話ばかりで、何か悪い面も隠
しているのではないかと感じた。」という感想や、
「時間が短かった、もっと聞きたい。」「再度話
に来て欲しい。」という要望や、自分の事より
他人の事を心配して「この中にも心から反省し
て努力・精進している人もいますので光を当て
てあげてください。」と書いていた人もいました。



千葉刑務所

一般社会の人からは、犯罪者にだけ手厚く支援の手を差し伸べるのは、アンフェアだという声も聞こえてきます。犯罪者などに助けは要らないとしかし犯罪に至った背景をみると元々アンフェアな立場にいた人たち、虐待やネグレクト、金銭搾取、DVなどの被害者であった人たちが加害者になっているという現実があります。罪を犯した背景をたどり、その生活課題に手当てをすることで多くの犯罪は防ぐことができます。それは実際に8年間この仕事を続けてきた私たちが実感している事です。「刑務所の中で惨めな思いをしている知的障害者を救い出そう」と設立された生活サポート千葉の初心を忘れずに、職員一同力を合わせていきたいと思えます。引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

特定非営利活動法人生活サポート千葉
千葉県地域生活定着支援センター
センター長 岸 恵子

平成30年度福利厚生委員会

第3回施設職員交流野球大会

今年度の予選大会は7月24日ナスバ・スタジアム、中台運動公園野球場、下総運動公園野球場の3球場にて実施させていただきました。これは10月に行われる全国社会福祉軟式野球大会千葉大会のシミュレーションを兼ねて1日だけで複数球場の開催としました。今年度の出場も11チームからのエントリーがあり、9月10日の決勝大会に進んだのは6チームとなりました。今年度においては千葉県で開催される全国社会福祉軟式野球大会があるので、出場されるチームは職員交流をしつつも力試しともなり、我々スタッフ側とすれば全国大会の予行練習にもなる貴重な大会でもありました。日程の調整等、協力していた



野球大会優勝 佑啓会Aチーム

いただいたスタッフの皆さんにはご迷惑をお掛けしましたが、皆さんに助けられ大会を実施できた事を感じ致します。本当にありがとうございます。来年度もまた多くの事業所の参加をお待ちしております！

見事に優勝！大会2連覇！！（佑啓会Aチーム）

今年も予選大会から圧倒的な強さ！今年度も新戦力が加わり昨年よりも更にチームの選手層が厚くなり、すでに向かうところ敵なしの強さ。予選の2試合も完封試合で決勝戦でも前年度準優勝の小池更生園を相手に12対0と相手チームを全く寄せ付けない試合運びでした。とにかく手のつけられない強さの一言です！！

2年連続の準優勝！（小池更生園）

決勝トーナメント1試合目は佑啓会Bチームに見事勝利！この勢いで昨年のリベンジとなるか？満を持して佑啓会Aチームとの決勝戦でしたが、やはり今年も佑啓会Aチームは強かった……しかし、昨年よりも失点が少なく、とてもチームバランスの良い試合巧者のチームでありました。2年連続の準優勝はお見事であり、あっぱれ！でした。来年こそは「打倒佑啓会Aチーム！！」。

《大会結果》

優勝

佑啓会Aチーム

準優勝

小池更生園

3位

佑啓会Bチーム

福利厚生委員長賞

菜の花会&大成会連合

敢闘チーム賞

清郷会&みのり福祉会連合

健闘チーム賞

大久保学園

《大会出場11チーム》

東葛地区…大久保学園・小池更生園

千葉地区…佑啓会（2チーム）・清輝会

北総地区…八日市場学園・野栄福祉会

成田地区…大成会&菜の花会連合・清郷会&

みのり福祉会連合

県南地区…安房広域福祉会・みづき会

第17回施設職員交流ゴルフ大会

第17回職員交流ゴルフ大会を9月21日に今年度も小見川東急ゴルフクラブにて59名の参加で行ないました。今年は真夏の8月開催ではなく9月にゴルフ大会を移動させていただきました。それがいけなかったのか私が雨男なのか...当日は前が見えなくなる程の大雨。私も泣きたい位のゴルフ大会となつてしまいました。これは午後からのハーフは大丈夫か心配となりましたが、皆さん大雨にも負けずに全員がホールアウトしていただきました。本当に参加していただいた皆さんに感謝しかありません。誠にありがとうございました。成績発表でも会長からも今日はお風呂が1番気持ち良かったとお褒めの言葉をいただきましたので、これにめげずに来年も数多くの参加をお待ちしております。これから皆さんよろしくお願い致します!!

《大会結果》(敬称略)

優勝	野栄福祉会	江幡	洋介
準優勝	野栄福祉会	島田	正仁
3位	みらい工房	平井	晋也
ベスグロ	富里福葉苑	岩館	祐治
	榎の実会	内田	節子

第25回施設職員交流バレーボール大会

11月7日千葉ポートアリーナにおいて施設職員交流バレーボール県大会が開催されました。今年も各地区予選大会から激戦が繰り広げられ16チームが各地区の代表として出場しました!

見事2連覇! 優勝!! (みずほ学園チーム)

昨年は見事に優勝に返り咲いたみずほ学園でしたが、今年は戦力ダウンしたとの噂があり、果たしてどうなるのか...私の勝手な心配は他所に順調に勝ち進み、決勝で因縁のふる里学舎



息詰るような決勝戦

との対戦! 見事に2-1のセットカウントの末に勝利しました。1セット目を取られ大丈夫かと思いましたが、いつも通りにクールに通算10度目の優勝となりました。やっぱりみずほ学園は強い! お見事でした!!

2年連続準優勝(ふる里学舎チーム)

こちらもチーム・法人一丸となり順調に勝ち進み決勝の相手は昨年同様のみずほ学園! 試合では1セット目を勝利し、一昨年前の再現かと会場は盛り上がりましたが...結果は惜しくも敗れ準優勝。しかし3年連続で決勝まで勝ち上がる安定したチーム力! とても総合力のあるチームです。来年こそはリベンジが期待できるチームなので今からまた楽しみます。

《大会結果》

優勝	みずほ学園
準優勝	ふる里学舎
福利厚生委員長賞	みづき会
敢闘チーム賞	九曜会

《県大会出場16チーム》
東葛地区...大久保学園・心聖会

第15回自立支援セミナー2019

「知的障害者の豊かな住まいの支援と課題」開催のお知らせ

千葉地区...ふる里学舎・九曜会・クロイバー会・みらい工房
北総地区...野栄福祉会・八日市場学園・北総育成園
成田地区...菜の花会・愛光・大成会
県南地区...みずほ学園・みづき会・安房広域福祉会・ふる里学舎和田浦

福利厚生委員会 委員長
上総喜望の郷 中村 敏久

《日時》

平成31年2月3日(日) 13時00分~16時50分

《会場》

千葉県教育会館 大ホール
千葉市中央区中央4-13-10

《次第》

12時30分 開場受付
13時00分 開会挨拶 会長 里見 吉英
13時15分 「知的障害者の暮らしの場の実践と課題」
コーディネーター 大久保学園 千日 清氏

「高齢化とグループホーム」野栄福祉会
しおさいホーム施設長 佐久間 智氏

「通過施設とグループホーム」まつど育成会
まつど育成会統括施設長 早坂裕実子氏

「入所施設の住まいの充実」みづき会
上総喜望の郷施設長 中村 敏久氏

15時30分 講演
「私は仕事も家庭も決してあきらめない」
元東レ経営研究所社長 佐々木常夫氏
16時50分 閉会

給食研修会報告 平成30年10月16日 於…ふる里学舎蔵波

「給食研修会の報告」について

平成30年10月16日、ふる里学舎蔵波にて、千葉県知的障害者福祉協会主催の「給食研修会」が開催されました。給食研修会は、「栄養士及び調理員、看護師、給食及び保健衛生を担当する支援員」を対象とし、今年度は、ふる里学舎蔵波における「食」についての実践発表と、「要介護高齢者における食事支援」の講演、「グループ討議（情報交換）」の3つの日程で開催されました。毎年、この研修会は好評であり、この日も県内各地の施設から70名の参加がありました。



給食研修会 会場にて

まず、会場となったふる里学舎蔵波の施設概要の説明、施設見学を行いました。ふる里学舎蔵波については、千葉あいご第67号でも紹介されましたが、平成28年4月に千葉県社会福祉事業団から機能引継ぎを受け、開所しました。敷地面積が約8万㎡、建物の延べ床面積が6千㎡を超える施設を見学しましたが、参加者からは、「敷地が広く、綺麗に整備されている」また、共有スペースに掲示されていた献立表を見た方

からは、「品名と写真が載っていて、食べるイメージをしやすく、わくわくさせるすごい工夫だと思った」と感想が上ががり、更なる快適な生活空間を提供できるよう努めていきたいと思いました。

続いて藤田嗣実栄養士から「ふる里学舎蔵波における食の取り組みについて」の実践発表がありました。ふる里学舎蔵波の給食は業務委託ではなく、直営で給食が提供されています。職員配置・勤務形態を始め、厨房機材について、昼食の提供状況、パン食や特別食、実際に提供している給食内容・衛生管理等、蔵波で行っている取り組み全ての発表がなされました。参加者からは「大切にしなければいけないことを改めて学ばせてもらった」という感想もあり、栄養士を含めた厨房職員のモットーである「温かい食べ物、冷たいものは冷たく提供する」ということを皆さんに感じて頂けたのではないかと思います。



盛り上がるグループ討議

お昼は給食研修会恒例となりました、実際に蔵波で提供されている昼食を食べて頂きました。メニューは「油淋鶏・ひじきともやしの胡麻和え・ご飯・お味

噌汁」です。皆さんが美味しそうに食べている様子を見て一安心。実際に、「とても美味しかった。味付けが絶妙」という感想をいただき、非常に嬉しく思いました。

続きまして、講演「要介護高齢者における食事支援」栄養士の食事支援の現状と課題」を社会福祉法人さつき会菜の花苑、管理栄養士の渡邊勇太氏から講演して頂きました。特別養護老人ホーム・菜の花苑での運営方式、高齢者の食事の意義・課題、障害福祉ではあまり聞いたことがない「サルコペニア・フレイル」について話をいただきました。その中でも、ソフト食の導入、看取り期の食事については大変興味があり、「ソフト食についてデメリットを受け止めて利用者に提供していきたい」「摂食嚥下についてわかりやすく説明してもらい良かった」という感想が上がっていました。

続くグループ討議では「治療食・行事食・衛生面の取り組み・高齢化に伴う給食」の4つのテーマから一つを選び意見交換をしました。ふる里学舎木更津で作った、クグロフを嗜みながら、各グループ大変盛り上がり「もう少し時間があればよかった」「他の施設での取り組みを自分の施設でも取り入れたい」と活発なグループ討議が行われました。

最後に社会福祉法人さぎんか会北総育成園、武井敏朗園長から、食事に対する熱意、一回一回の食事を大切に作る気持ちを伺い、今回の給食研修会を総括して頂きました。

様々な職種が「給食」というテーマをもとに交流ができるこのような研修はとても有意義な時間だったのでないかと感じました。今後も、調理員だけでなく、栄養士、看護師、支援員が協力して、利用者の「おいしかった」を目標に取り組みたいと強く思いました。

社会福祉法人 佐啓会 ふる里学舎

支援員 藪田 真

新事業所紹介

社会福祉法人大久保学園 梨香園

新たなスタート

大久保学園梨香園は、市川市が直営で行っていた生活介護事業所「市川市梨香園」を平成30年4月1日より法人が引継ぎ、民設・民営により運営を開始いたしました。6月1日からは武蔵野線市川大野駅から徒歩15分、市川市北消防署、市川法務支局に隣接する交通アクセスの大変便利な場所に新たに施設整備し事業を開始しました。生活介護は定員60名（重心5名含む）、短期入所単独型は定員12名（他緊急時受入れ2名）、その他特定・一般・障害児相談支援事業を行っています。施設整備にあたり市川地域の課題であった重度心身障害者の受入れを5名として、全館バリアフリー対応、将来的には入浴サービスを実施できるよう広いシャワー室も設置しております。また、居住系の少ない市川市内の実情を考慮し最大14名が利用できる短期入所棟は、車椅子の方が使用しやすいようにトイレ・洗面所付きの居室も4部屋設置しました。日中活動については、長年行ってきた伝統の組み紐をはじめ、受注作業、公園清掃等の作業活動。また、レクリエーシ



梨香園外観

ョン活動や創作活動にも力を入れ沢山の経験・体験ができるよう取り組んでいます。運営が市川市から民間法人に代わることに伴い、利用者・保護者の方々には多くの不安もあることと思いますが、1月から職員6名を派遣して引継ぎ業務を経て万全の態勢で4月を迎えました。市川市での事業は初めてですが、優先すべきこととして、利用者や保護者、地域の事業所、行政、学校、医療機関等との信頼関係を構築し、利用者・保護者、地域の期待に応えられるよう頑張ります。どうぞご指導のほどをよろしくお願いたします。



伝統の組み紐

ヨン活動や創作活動にも力を入れ沢山の経験・体験ができるよう取り組んでいます。運営が市川市から民間法人に代わることに伴い、利用者・保護者の方々には多くの不安もあることと思いますが、1月から職員6名を派遣して引継ぎ業務を経て万全の態勢で4月を迎えました。市川市での事業は初めてですが、優先すべきこととして、利用者や保護者、地域の事業所、行政、学校、医療機関等との信頼関係を構築し、利用者・保護者、地域の期待に応えられるよう頑張ります。どうぞご指導のほどをよろしくお願いたします。

施設長 関 厚

社会福祉法人高柳福祉会 わかたけきッズ

福祉型障害児入所施設

社会福祉法人高柳福祉会わかたけきッズを平成30年4月1日にオープンしました。県内では11番目の福祉型障害児入所施設です。障害児入所施設は長い歴史のある施設が多い中、新たに生まれた施設です。障害児に対する福祉サービスは放課後等デイサービスや児童発達支援等多くはなりましたが社会的養護を必要とする障害児の受け入れ先が少なく、当法人のグループホーム短期入所に希望する小・中・高校生が現



小規模なケアを目指します

れましました。当初は法的には可能なので2名ほど受け入れました。その後、高校2年生がグループホームの利用者になり2年間学校へ通学しました。現場の職員から大人と子どもでは対応が違うとの意見が出てきました。何か良い方法はないかと思いついていた時期、千葉県より福祉型障害児入所施設設置候補者の公募がありました。公募の理由は千葉県袖ヶ浦福祉センターの少人数によるきめ細かなケアを目指してセンターの定員規模を縮小し定員減分の設備をすると書かれていました。当初は高柳福祉会の仕事とは考えていませんでしたがグループホームの事を考え応募しました。当施設は定員20名短期入所4名3ユニットに分かれ、小規模なケアを目指します。現在の入所障害児数は8名です。千葉県知的障害者福祉協会の一員としてよろしくお願いたします。

施設長 外山 義哉



わかたけきッズ外観

支援スタッフ
から見た!

わが施設の自慢・アピールポイント②8

平成20年度から27回にわたり75の“プチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は2つの“プチ自慢”です!

千葉ブロック 企業組合あしたの種 明日の種

地域で生き生きと活躍できる場所

「明日の種」は千葉市花見川区にある就労継続支援B型事業所です。2012年に開設し、丸6年を迎えました。2年前からは、花見川区役所の食堂運営を受託して、毎日ランチの提供を行っています。

食堂は「あしたね食堂」という名前で、私たちの畑「あしたねファーム」でとれた野菜を使った日替わりランチを出しています。B型のメンバーが毎日交代で4人ずつ働いています。メンバーのスキルの向上により、提供食数も増え、今は日々70食程度を提供できるようになりました。役所や地域の方々に、メンバーの働く様子を直接見てもらえることで、障がいに対する理解を深めてもらえる場になりつつあります。



田植え作業



明日の種外観

地域の中に、障がいを持つ方たちの働く場を増やしていくことが、私たち「明日の種」の使命で、食堂や畑の活動を通して、生き生きと活躍できる場所を増やしていきたいです。

明日の種 代表理事 組田 香織

東葛南ブロック 社会福祉法人 習愛会 花の実園

一人ひとりの個性を大切に支援します

「花の実園」は、就労継続支援B型並びに生活介護の多機能型施設として、利用者一人ひとりが生きる力と自立のために必要な力をやしない、就労を目指した事業内容を中心に社会の一員として希望を持って生活していくことが出来るよう利用者一人ひとりに見合った福祉サービスの提供を行っています。

木工班ではテーブルベンチ等、木の温もりを感じ愛着が沸いてくる製品を多く製作しています。また、習志野市ふるさと納税の返礼品に出品もさせて頂いています。

生活介護班では、毎月大きな壁面装飾(ちぎり絵)を製作しています。完成した作品は施設内・習志野市役所・近隣施設等へ展示も行っています。



木工班制作・テーブルベンチ



花の実園外観

製作品・イベント参加等の最新の情報をホームページやフェイスブックにて随時更新していますのでぜひご覧いただけたらと思います。

花の実園 広報担当 小山内 智貴

千葉知協トピックス

第45回 手をつなぐスポーツの集い



好天に恵まれ運動日和

平成30年10月25日(木)、第45回手をつなぐスポーツの集いの集い(本協会、千葉県等が主催)が千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催されました。昨年よりも2週間遅くなりましたが、気温が心配されましたが、好天に恵まれ運動日和の一日となりました。午前は陸上競技場のフ

イールドを使い、徒競走、玉入れ、パン食い競走等を行い、参加者は心地よい汗を流しました。昼休みの時間は東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業の1500m記録会が行われ、日本代表選手を夢見る選手たちが力走していました。午後は法人対抗リレーが行なわれました。各部門の主な成績は次の通りです。

- 〔児童の部〕 優勝…香取学園龍ヶ谷寮、準優勝…わかたけきっず、3位…桐友学園
- 〔利用者の部・男子〕 優勝…ふる里学舎、準優勝…富里福葉苑、3位…オリーブの樹
- 〔同女子〕 優勝…大久保学園、準優勝…榎の実会、3位…みちる園
- 〔職員の部・男子〕 優勝…大久保学園、準優勝…みづき会、3位…ロザリオの聖母会
- 〔職員の部・女子〕 優勝…大久保学園、準優勝…ふる里学舎、3位…清郷会

スポーツ文化委員会

藤崎

明

朝日新聞社杯争奪
第33回千葉県ゆあひピックソフトボール選手権大会

ゆあひあいピックソフトボール選手権大会が9月14日・15日に亘り、成田市中台球場他5球場にて27チームの参加により開催されました。大会は天候が思わしくなく、初日は予定されていた全試合をどうにか実施できま



悪天候ながらも熱戦

したが、2日目は途中より降雨が強くなり止む無く試合を中止し、抽選で順位を決める結果となりました。悪条件の下での大会となりましたが、審判・ボランティアの献身的な御支援により、選手は悪条件をものともせず思い切ったプレーで泥まみれになりながら活躍されました。各賞について、今回は省略させて頂きます。

第25回 千葉県障害者フライングディスク大会



アキュラシー競技

10月4日、千葉県総合スポーツセンター 陸上競技場で「第25回 千葉県障害者フライングディスク大会」が開催されました。当日は、時折小雨が降るコンディションでしたが、午後に行なわれたディスクスタンス競技では好記録が続出しました。

団体戦の成績は以下のとおりです。

アキュラシー団体

(男子) 第1位 富里福葉苑/第2位 八日市場学園/第3位 スポレクオール☆s/第4位 しもふさ工房/第5位 流山高等学園

(女子) 第1位 富里福葉苑/第2位 佐倉福葉苑/第3位 八日市場学園/第4位 しもふさ工房/第5位 ひかり学園アネックス

ディスクスタンス団体

(男子) 第1位 富里福葉苑/第2位 みちる園/第3位 スポレクオール☆s/第4位 佐倉福葉苑・八日市場学園

(女子) 第1位 八日市場学園/第2位 しもふさ工房/第3位 佐倉福葉苑・富里福葉苑・中野学園

団体総合

(男子) 第1位 富里福葉苑/第2位 八日市場学園/第3位 スポレクオール☆s/第4位 佐倉福葉苑/第5位 みちる園

(女子) 第1位 富里福葉苑/第2位 八日市場学園/第3位 しもふさ工房/第4位 佐倉福葉苑/第5位 中野学園

団体男女総合

第1位 富里福葉苑/第2位 八日市場学園/第3位 佐倉福葉苑/第4位 しもふさ工房/第5位 中野学園

千葉県第3位!
全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」

10月13日～15日、福井県福井市にある9・98スタジアム(福井県営陸上競技場)をメイン会場にし、福井県内の10市町で第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」が開催されました。



福井大会開会式



全力疾走の選手

千葉県からは総勢55名の選手を派遣し、東京都・大阪府に次ぐ金50個、全国第3位の好成績を収めました。

知的障害関係の派遣選手では、21個の金メダルを獲得し、田中秀治(フライングディスク競技、ディスクスタンス(メンズ・スタンディング))が大会新を記録しました。また、千葉市選手団も総勢19名の選手を派遣し、10個の金メダルを獲得し、大活躍をしました。

スポーツ文化委員 千葉 健彦

事務局便り

事務局長 千日 清

平成のしめくりとなる師走。30年を振り返り、新しい時代へ進んでいくことが大切。一年間の協会への皆様からの協力に、深く御礼申し上げます。

編集後記

くすのき苑 秋山 直樹

気付けば年の瀬。過ぎゆく時の速さに置いていかれぬよう、知識と技術を深めていきたい。